

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部情報科学学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月31日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期：1/10～5/12(spring) 2 学期：5/22～8/12(summer) 3 学期：8/17～12/16(fall) 4 学期： (記入例/ 1 学期：4月上旬～7月下旬, 2 学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		805,300 円	
宿舍費		586,000 円	
食費		60,000 円	寮食以外の食事代
図書費		円	
学用品費		10,000 円	
携帯・インターネット費		20,000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		30,000 円	
被服費		30,000 円	
医療費		円	
保険費		45,495 円	形態：明治大学の保険
渡航旅費		236,090 円	往復
ビザ申請費		68,000 円	SEVIS 費込み
雑費		20,000 円	シーツなどの生活必需品
その他		円	
その他		円	
合計		1910,885 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田空港 目的地：サンフランシスコ 経由地： 復路 出発地：LA 目的地：羽田空港 経由地：
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社：JAL 料金：230,960 円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：jal） <input type="checkbox"/> その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：international house） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 2）
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
ihouse の web ページ
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
ihouse では毎日ご飯がでて、毎週イベントもあるのでとても楽しかったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所： ）
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等： ）
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険な事件などはカリフォルニア大学からのメールを利用して情報を受け取っていました。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
寮にも大学にもインターネット環境があるので特に問題はありませんでした
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）
ソニー銀行のデビットカードを使っていました。現地で現金を下ろすことはなかったです。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
カップラーメン
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）
渡航前に wise を利用して送金しました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
4 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 奨学金を取得しているため10単位以上		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
Foudation of Data Science		データサイエンスの基礎
科目設置学部・研究科	Data Science	
履修期間	6/27～8/12	
単位数	4	
本学での単位認定状況	4 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に60～120分が5回	
担当教授	Ellen Persson, Kevin Miao	
授業内容	実世界のデータセットを分析しながら、プログラミングスキルと統計的推論のスキルを学ぶ。	
試験・課題など	1日に1～2のプログラミング課題、3週間に1つ大きなプログラム課題 中間試験、期末試験(どちらも対面)	
感想を自由記入	実データを使いながら、データ分析スキルや概念が身についたのでとてもためになった。課題は難しいものもあり大変だったが、現地の友達と進めながら毎日復習していたので楽しかった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：
DigitalPhotography: Foundations		デジタル写真/カメラの基礎
科目設置学部・研究科	Art	
履修期間	5/23～6/24	
単位数	4	
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に240分が5回	
担当教授	Eniola Eno	
授業内容	デジタルカメラを使いながら、写真の基礎について実践的に学ぶ	
試験・課題など	課題は週に一度、300～1000枚テーマに沿った写真を撮影 中間はレポート、期末はプロジェクトを展示	
感想を自由記入	課題が多く大変だったが、いろんな場所に撮影に出かけたり、最後のプロジェクトでは一から構成を練って発表会をしたり、とても楽しかった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Listening and Speaking	リスニングとスピーキング
科目設置学部・研究科	COLWRIT
履修期間	7/5 ~ 7/22
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	（チュートリアル，講義形式等）
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Scot Crisp
授業内容	発声練習など基礎を磨き、プレゼンやディスカッションなどを通してリスニングとスピーキングのスキルを向上させる。
試験・課題など	一日一つプレゼンや要約の課題
感想を自由記入	発声練習や発音練習などを通して、様々な国の人と話すことができ楽しかったです。また、プレゼンのスキルや要約のスキルも身につけてとてもためになりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト，書籍，機関など
外資就活、リクナビ
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界，職種等を教えてください。
リクルートのプロダクトグロースコース、様々な業界と関わることや将来起業するにあたって必要なスキルを身につけることができると判断したから。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動に向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私の場合、留学中に就職活動を続けていました。勿論学校の課題と並行するのは簡単ではないですが、サマーインターンシップの選考を受けていた学生たちと、みんなで夜中まで一緒に対策したため乗り越えることができました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	出願、予防接種、滞在先の確保
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入、中間試験
	8月～9月	期末試験、報告書等提出
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	就職
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

そもそもの目的として、語学留学ではなく、IT技術等の知見を深めながら優秀な人たちと交流する、ということが目的であったため、世界トップのアメリカの大学に絞っていました。その中でも、専門であるコンピュータサイエンスや、個人的に注目しているデータサイエンスの領域に強いカリフォルニア大学バークレー校を選びました。他の理由としては、毎日天候が安定していて、気持ちの良い環境で学習できると思い、バークレーが最適だと考えました。

大学の雰囲気としては、芝生が多く自然豊かであったり、素敵な図書館やジムがあったりと、集中できる環境が整っていました。

現地学生の雰囲気としては、切り替えが早く、とにかく効率が良いというイメージでした。例えば、昼間に課題や仕事を終わらせ夕方には遊びに出かけたり、夜はバーに行ったりなど、息抜きを挟みながら、勉強や仕事と、遊びのバランスをとっていました。その点に関していうと、私を含め日本の学生は夜まで勉強をしていることが多かったので、留学生活後半は適度に息抜きを挟むよう心がけていました。

そういった雰囲気の中で、世界トップの学生が2~4年間で何をどう学んでいるのか、それを将来にどう活かすのかを知り、そういった人たちと繋がりを持つことができることはとても貴重な経験だと思います。また、マスターを取りにきた会社員の方や、様々な経歴をもった方と関われるのもビジネススクールを持つUCバークレーの魅力だと思います。このように人生の中で大きなきっかけとなるような経験が積めるため、少しでも迷っていたら行ってみることを強くお勧めします。